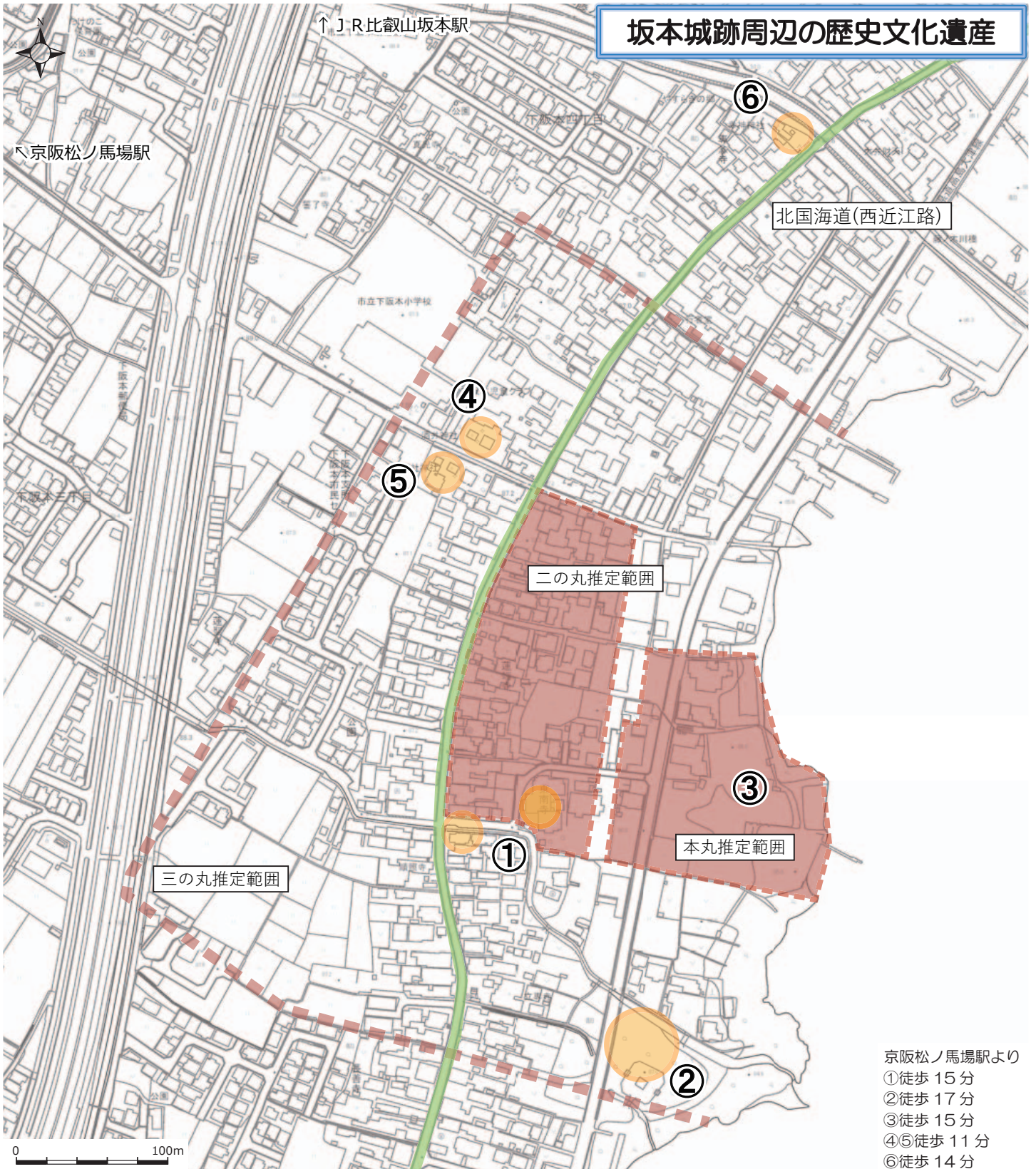


# 坂本城跡周辺の歴史文化遺産



## ① 東南寺と坂本城址碑

最澄が仏教を広め、法華経を講ずるために建てた寺。夏には天台座主への登竜門とされる戸津説法が行われる。坂本城二の丸跡と想定され、大正4年(1915)「坂本城跡」の碑が建てられた。

## ② 坂本城址公園

この公園から少し北側に本丸跡があり、湖岸に天守が建つ水城であった。公園には、明智光秀の石像が立つ。

## ③ 坂本城跡

元龜3年(1572)織田信長の命で、明智光秀により建立。湖岸に本丸があり、大天守・小天守が建つ水城であった。城の痕跡はほとんど残っていないが、わずかに湖中に石垣が残る。

## ④ 酒井神社

北西にある旧社地で酒の泉が涌いたとの由緒から酒井神社と名付けられた。本殿は県指定文化財。境内には明治29年(1896)の大洪水の最高水位を刻んだ石標(市指定文化財)が移設される。

## ⑤ 両社神社

坂本城主浅野長吉の次男、広島藩主浅野長晟は、元和6年(1620)産土神である酒井神社・両社神社の本殿を建立。両社は江戸時代を通じて浅野家の崇敬をうけた。本殿は県指定文化財。

## ⑥ 幸神社

境内にある燈籠は、江戸時代、奇石蒐集家・本草学者として知られた木内石亭が、文化2年(1805)に寄進したもの。石亭は、下阪本に生まれた縁から生家の氏神に寄進し、子孫繁栄を祈った。